

# 日本エアテック 社内報



2021年 夏号

発行：日本エアテック 企画管理部



# 日本エアテック社内報



2021年  
夏号  
【発行】  
日本エアテック  
企画管理部



## KEYMAN's INTERVIEW



キーマンズ・インタビュー

—— 当社の鍵を握るあの人に、聞いてみたいことがある。 ——

# KEYMAN's INTERVIEW

現在日本エアテックでは、品質改善への新たな取り組みがスタートしています。今回の対談はその中核を担う、技術総括部の神寶総括部長にご登場いただきました。第一工作部の新免部長と、生産技術部の松村副部長も交えて、品質改善への想いと今後の変化についてお話いただきます。



取締役 神寶 一さん  
しんぼう けいいち

な、もつと根本的で差し迫った課題だと捉えています。

「これまでの日本エアテックの品質体制には、どのような問題があるとお考えですか？」

**神寶** 昨年度「品質目標」として不具合件数関係の数値目標を設定されましたが、これは未達に終わっています。この原因は目標を達成するための具体的な方法を決め切れていなかったことが原因だと考えています。そこで今年度は、昨年度の発生不具合を分析して導き出した16項目の具体的課題を、徹底的につぶしかかる活動をしていきます。さらに今年度から、品質に関わる会議を「品質会議」と改称し、すべての部門の代表者に参加していただきます。これにより組織全体で品質改善に取り組む体制が整いました。

「品質改善の具体的な取り組みとしては、どのようなものがありますか？」

**松村** 神寶総括部長が提示した16の項目は、自分も納得できました。生産技術部は工程づくりの中で品質を守る役割がありますが、過去に立ち上げた製品の一部で作り込み甘い部分を削る刃物について、使用する種類の指示などはされていましたが、それを何回まで使っていたかは現場に委ねられていました。その曖昧さによって、刃物が作業途中で折れる原因にもなっていたんです。現在新しく立ち上げる製品に関しては、既に新しい基準で仕様を定めています。今後は旧来の製品に対しても同様の基準に改めていく予定です。

**新免** 第一工作部では、「整理・整頓・

清掃」の3Sを徹底していきます。昼夜勤で仕事を引き継ぐ際にも、お互いが気持ちよく交替できるのが理想です。また設備が止まることのない様に、維持管理をしっかりやっていくことも対策に盛り込んでいきます。あとは、工程の詳細な手順のマニュアル化です。熟練の作業者が頭の中に記録していた手順を、誰でもわかりやすい手順書に変換していこうとしています。



生産技術部 副部長 松村直也さん  
まつむら なおや

**神寶** これからは見て覚えるの時代ではありませんか？

「品質改善のやり方です。品質改善の取り組みによって、現場の仕事はどう変化していくのでしょうか？」

**新免** まず、教育がスピーディになります。世代交代の時期を迎えている当社にとって、これは重要なポイントです。将来的には多能工化にも繋がりたいと考えていて、手順書があれば工程間の異動もスムーズにできるようになるでしょう。

**松村** 作業の無駄が減ることによって、間違いも減っていきます。最初は

余分な作業や面倒が増えると思われるかもしれませんが、長い目で見たら仕事の効率化に繋がる取り組みです。展開が進んでいるJAT神戸工場では、作業時間の短縮やミスの減少など、既に成果が表れています。作業手順書は「ポルトをどれくらい力の締めるか」まで網羅していますので、経験の浅い人でも難しい作業ができるようになりました。

「品質改善の成果は、どのように評価・反映されますか？」

**神寶** 品質改善に取り組みにあたり、手ごたえや達成感は重要だと考えています。そこで成果の見える化、として、品質にかかわるKPI（指標）を定め、毎月グラフ形式で品質スコアを社内に表示していきます。自分の毎月の頑張りを、目で見て実感していただきたいです。

**新免** 製造出身の私としては、苦労して仕上げる製品から不具合が出にくくなること自体が、純粋に嬉しいと感じます。もちろん、目に見える形で成果が出るということは、評価にも反映されます。最終的には頑張った給与が上がるということですので（笑）そこをモチベーションにしてもいいかもしれません。とはいえものづくりは品質だけを考えればいいわけではなく「Q（品質）・C（コスト）・D（納期）」のバランスを取らなくてはなりません。この部分は私も、引き続き考えていきたいと思っています。現在はコロナで難しいですが、落ち着いたら皆でコミュニケーションを取る機会も設けていきたいですね。

「品質改善にあたり、従業員の方にお願したいことはありますか？」

**松村** まあいつか、という気持ちでものづくりをするのは避けていただきたくはいいですね。確実に、確認をしながら進めて欲しいです。その確認ツールとして活用出来る様に是非手順書の整備をお願いします。加工に関してお困り事があれば生産技術部がサポートします。

**神寶** 取り組みに対して意見や気づきがあれば、発信してください。品質改善は、一方通行では成り立ちません。手順書も現場からの「もつとこうした方がいい」等の意見をもらって作り込んでいくものです。本場に現場にとってやりやすい品質改善を目指していきますので、ご協力をお願いします。



第一工作部 部長 新免元己さん  
しんめん もとみ